

平成 29 年度 「認知症看護対応力向上研修」(札幌会場)参加者アンケート結果

開催日： 2017 年 9 月 30 日(土)・10 月 1 日(日)

会 場： 札幌市立大学桑園キャンパス 大学院棟 大講義室

申込者数:71 人(会員:5 名 非会員:66 名)

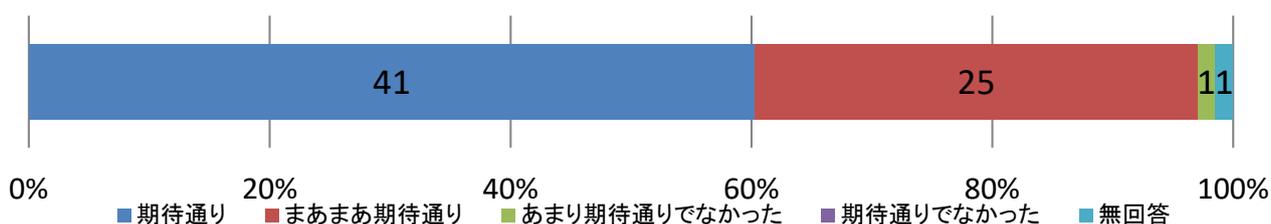
受講者数： 1 日目 69 名 , 2 日目 68 名 (受講証明書発行 68 名)

アンケート回答者： 68 名



I. 研修会全体について

Q1. 研修の内容は期待どおりであったか



わかりやすかった

- ・ 期待以上にわかりやすかった
- ・ いろいろな事例も交えてありとても理解しやすかった

幅広く学べた

- ・ 理論から演習まであり講義で得た知識を実践で活かす訓練ができた
- ・ 症状から倫理まで幅広く考える機会となった
- ・ 基本から多方面からの講義を受けることができた

認知症の理解が深まった

- ・ 認知症の病態が整理・理解できた。認知症看護のアセスメントが深められた。
- ・ 認知症の分類・経過を学べたのが大きい
- ・ 病態について詳しく学ぶことができた
- ・ 認知症についてわかっているつもりでいたが、より深く知ることが出来て楽しかった。

新しい知見を得た

- ・ 最新の情報を含んだ研修内容でとてもためになった

- ・ 最近の病気の傾向の知識を学べた

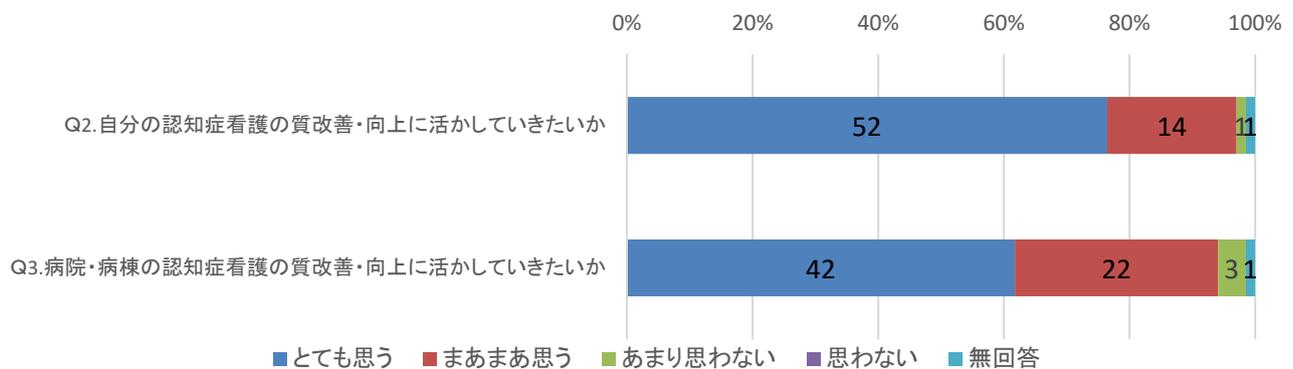
実践に役立つ

- ・ 講義だけではなく、演習もあったので実際に自分で考えることができた。基本的な知識だけではなく、実際の現場でどのようにしたらよいかの知識も学ぶことができた。
- ・ 身近で実践することができる。
- ・ 自分たちの実践の裏付となった。
- ・ 詳しい内容であり、今後の看護に役立てられそう

演習を多くしてほしい

- ・ もう少し演習が多いほうが楽しく学べる研修になったと思います

Q2～3. 研修を受けての感想



Q2. 研修を受けて、自分の認知症看護の質改善・向上に活かしていきたいと思うか(理由)

これまでの認知症や認知症ケアの捉え方を変えたい

- ・ 認知症の捉え方が違っていました。学んだことを取り入れていこうと思います
- ・ 認知症患者様だから大変なんだではなく、ケアの方法や関わり方で変わる、変われると思えました
- ・ 今まで、認知症だから…と考えをやめていたが、そうではないと知り、ケアに繋げていきたいと思った
- ・ じっくり認知症について考えることがなかったので活かしていきたい

認知症の人と家族を支えたい

- ・ 認知症をもちながらもその人らしい生活を支える手助けをしたいから
- ・ 生きている限り、病気あっても人間だからフォローできる部分を手伝いたい。
- ・ 認知症看護、その人がその人らしく生き生活することが出来、それに対してサポートする、ケアする、すごく奥が深く多彩である悩んだ分だけ喜びがある
- ・ 病院で忙しく働いていますが、改めて患者様の立場を考えさせられる機会になったので活かしていきたい
- ・ 患者家族への声掛けや患者の声を今まで以上に大切にしていきたい

日頃の自分の看護を振り返り今後に活かしたい

- ・ 今までのケアをふりかえる事ができ、また、できるケアが見つけれられた
- ・ 自分自身が看護してる中で改めて振り返ることができた。少しずつでも活かしていきたい
- ・ 自分では理解しているつもりでいるが、振り返りの意味でも日々テキストを見ながらケアの確認をしていきたい。
- ・ コミュニケーションや環境づくり、退院支援に活かしていきたい

知識に基づいたアセスメントとケアをしたい

- ・ 学習した知識、手法からアセスメントをしっかりと行いケアに繋げていきたいと感じたから

- ・ 今まで業務に追われ、その患者さんの行動1つ1つの理由を考えなかったので、これからは考え、アセスメントに繋げていこうと思いました。
- ・ ICUで勤務しているが、せん妄の評価がされていないので、今後バイタルサインと同じように評価できるようにしていきたい。
- ・ 認知症・せん妄の方のアセスメントの視点が確認できた。現場でそれを実践したい

他のスタッフにも伝えたい

- ・ 認知症看護について、もってない知識も今回の研修で得られたりしたのでスタッフへ伝達したいです。
- ・ スタッフへの指導・教育面で活用したいと思っている
- ・ 認知症患者様も多く多忙でゆきとどかないことも多いので、再度スタッフに伝えていきたい。自身も振り返ってもう一度考えていこうと思う

Q3. 研修を受けて、病院・病棟の認知症看護の質改善・向上に活かしていきたいと思うか(理由)

認知症の人が増えている

- ・ 入院される患者さんでも高齢、認知症の方が増えてきているので、講習を受けたことを振り返りながら活かしていきたい
- ・ 認知症患者はこれから減らないのに業務は過酷になっていくので、スムーズな看護ケアができるように
- ・ 現在は高齢者中心の病棟におり、ほとんどの人が認知症加算3ですが、動きがある方もいるので、対応方法を見直しながらケアしていきたいと思います。

倫理的な課題がある

- ・ 認知症の方への対応について倫理的な問題があると感じることが日頃あったため認知症だから仕方ないと片付けてしまっている部分が多くあったので、今後はきちんとアセスメントして関わっていきけるようにしていきたいと思いました。
- ・ 認知症患者の関わり方について疑問を感じる場面を見かけることがあるので
- ・ 部署のスタッフの言動が良くない例として上がってくるそのものであり、倫理的にも看護をする上でも問題と感じていたから
- ・ 認知症だからと対応がなあなあになっていることがある。根気よくかかわる工夫を身につけてもらいたい

認知症の病態や看護の知識が不足している

- ・ 認知症患者の病態の理解を今までできていなかったと感じ、今後理解し関わっていききたい
- ・ 病棟のスタッフたちも認知症に対する看護、知識が少ないと思うので、まずは共有してより良い看護を検討していきたいです。
- ・ 認知症患者・家族ケアに対して知識のない人もいるので伝えていきたい

体制を作りたい

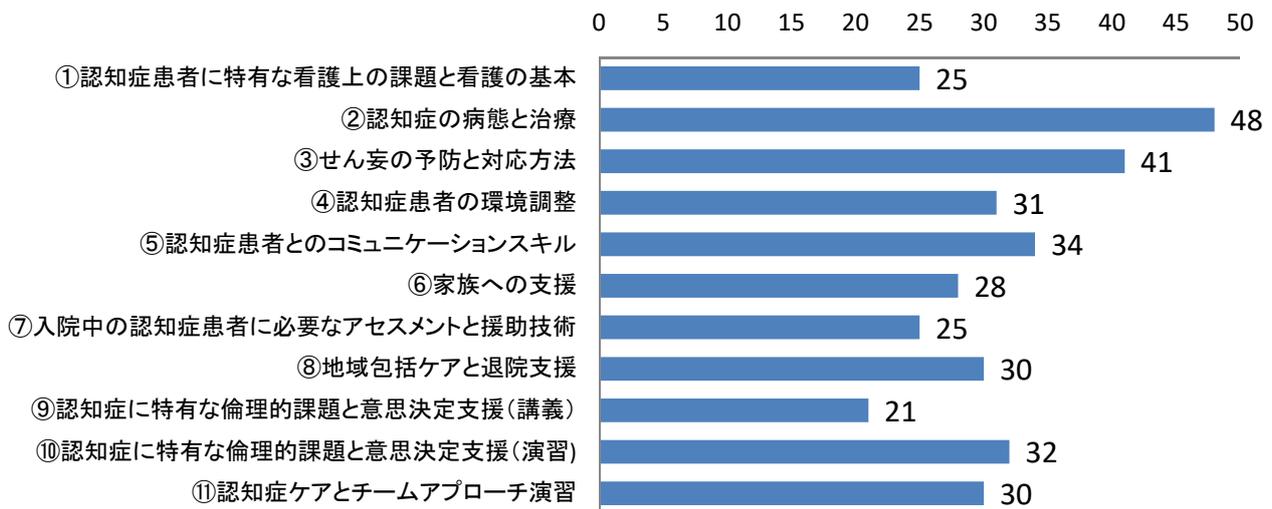
- ・ 認知症のPt、家族のためにケアを見直し適切なシステムの構築、ケアに繋げていきたいと思った
- ・ 多職種の方との関わりなどいろいろありますが、徐々に認知症ケアの改善、向上に活かしていきたいと思う
- ・ 院内で認知症に関する委員会に参加しているので質の向上に努めたい。加算もついているのでプラン評価などもきちんとやっていくようすすめていきたい。

実際に病院・病棟で研修の内容を実践するのは難しい

- ・ 病院全体の風土には活かしたいと考えるが、病棟的にはアセスメント方法、視点の教育には使えると思うが、実践は難しいと思う。
- ・ 実際に対応がむずかしい対策があった。頑張れば出来ることなのに理想論を言われそうな気がする。現場を知らないのかと思われる可能性がある。

II. 研修会の内容について

Q4. 講義・演習について特に自分にとって収穫があったと思うもの(複数回答可)



Q5. 講義・演習に追加して欲しい内容、改善点

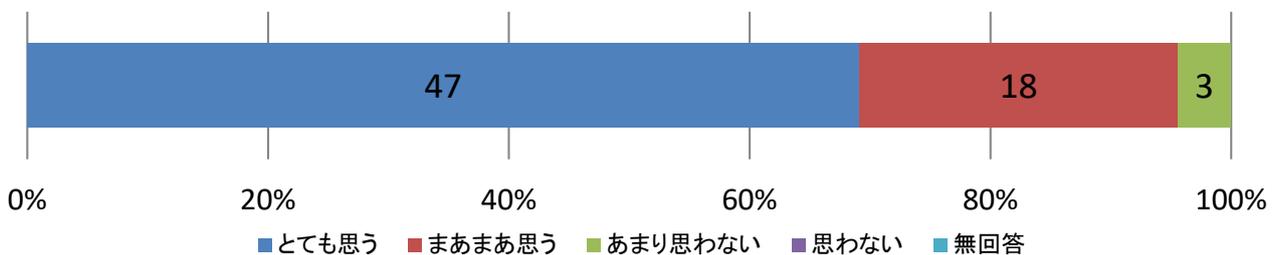
時間について

- ・ 時間が足りませんでした。もっとくわしく聞きたい内容もありました。
- ・ もう少し1つの講義に時間に余裕があればいいと思います。駆け足でとなるとついていけなくなったり、理解に苦しんだ。
- ・ 演習をもっと少なくして時間を短くすればいい。

講義・演習の内容について

- ・ 病態についてももう少したくさん学びたかった
- ・ 勤務する集中治療室にもかかわらず看護師の配置が4:1～5:1です。その中で無鎮静で重症な患者をみています。せん妄の方々にどのいったケアができるのか、もっと突っ込んで話を聞きたかった。
- ・ アセスメントの事例、演習を通して学んだり気づいた点が多くありました。できればもっと多くの演習を入れてほしいと思いました。
- ・ 始めに⑪認知症ケアとチームアプローチ演習のような演習があると、参加者同士の演習の際に、よりコミュニケーションをとりやすいと思いました。
- ・ 演習時のグループ編成を考慮して、あらかじめ席を配分しておくのと効率がよいのではないかと。
- ・ 療養にかかる費用について聞いてみたかった。

Q6. ご自身の病院・病棟において質改善・向上において今後このような研修は必要だと思いますか



認知症の人と関わるために知識や技術が必要

- ・ 認知症に対しての知識がまだまだ浅く、間違った認識や関わりをしている看護師・介護スタッフも多いため。
- ・ 認知症を嫌がるスタッフは多い。認知症をバカにした様に扱う人もいる
- ・ 認知症に対する知識(看護も含め)あまりなく、適切な対応ができていないスタッフが多い為。
- ・ 認知症人口が増加していくことを考えれば、どの病院でも援助スキルが必要。
- ・ 経験によって得た知識・技術だけではなく理論を知ることが良いケアにつなげる第一歩だと感じたためです。自分自身勉強が不足していることを実感しました。

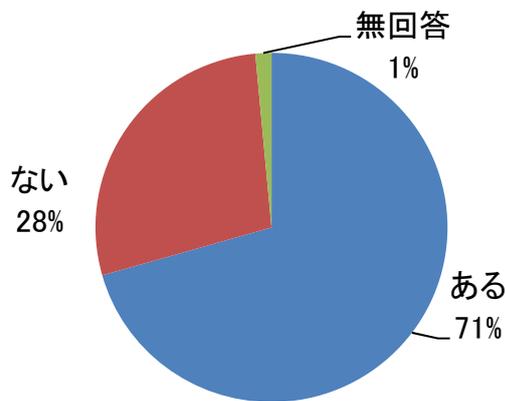
- ・ 認知症患者、高齢者の意思決定支援をみんなに考えてもらいたい
- ・ 認知症、せん妄はこれからどんどん増えていくことが考えられるため、病棟、病院全体で知識を深めていくことは大切だと思う。

看護の質の向上のために振りかえりのためが必要

- ・ 当院でも毎年行っているが、自分たちのケアを再確認するためにも必要と思う
- ・ 接し方などわかっていると思うが、忙しさやナース主体となる看護になりやすく、改めて気持ちがひきしまるから。
- ・ 認知症の患者が多いこと、ケアにおいて振り返りが必須
- ・ 知識の見直し振り返りが大事だと感じる。また事例を使用した演習は身につく認知症看護の向上につながると思う。時々現場を離れて知識の確認と他施設の方々と交流をもつことも大事だと思う。
- ・ 認知症の看護の知識の不足、看護の質が低いものだと思うから
- ・ より良い認知症看護は一人ではできないから、また認知症の人への看護の質向上は他の対象者への看護の質向上にもすぐに直結するものだから。
- ・ ケアワーカーさんの質向上も必要と思う。

Ⅲ. 研修会後の病院・病棟での活用について

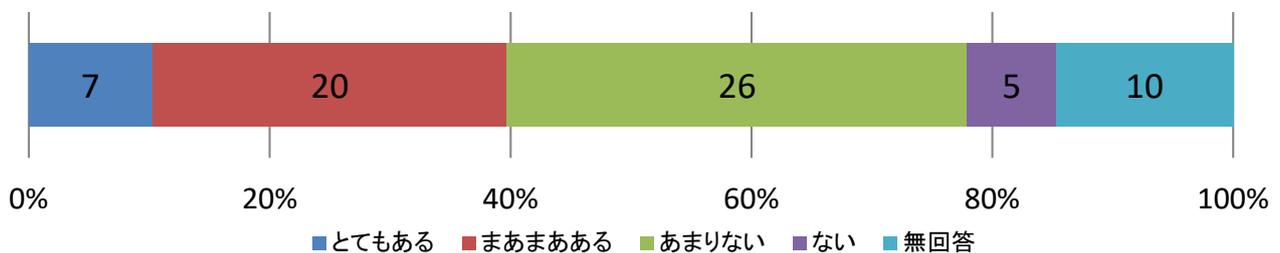
Q7. 研修会で学習した内容の病院・病棟での活用予定



Q8. 「活用予定あり」(N=58)の内容

病院・病棟報告会	41%
伝達講習会	17%
マニュアル作成	5%
看護計画立案	9%
その他	3%
(その他の内容)	
認知症ケアチーム	
認知症ケア加算1の研修企画	

Q9. 研修会で学習した内容を病院・病棟で活用・普及するにあたっての困難や障害



Q10. とてもある、まあまああると回答した方

スタッフの意識改革が必要

- ・ 新しいことを知る気も覚える気もなく、今まで通りの勤務では支障がある状況でも誰が伝達しても意識が変わらない上に「なんでコノ人私の夜だけ不穏なの?」「さっき言ったのにいい加減にして」等々の言動が飛び交う職場のため
- ・ 認知症患者援助を経験値でやっている NS が多く、理論的な事や根拠を受け入れてもらえるか
- ・ 多くの NS は認知症ケアについて関心がない。困ってはいるが、どうしたら良いかという事を考えると、薬剤調整のようにすぐに目にみえる効果を期待してしまう。

看護師の人手不足、時間の制限がある

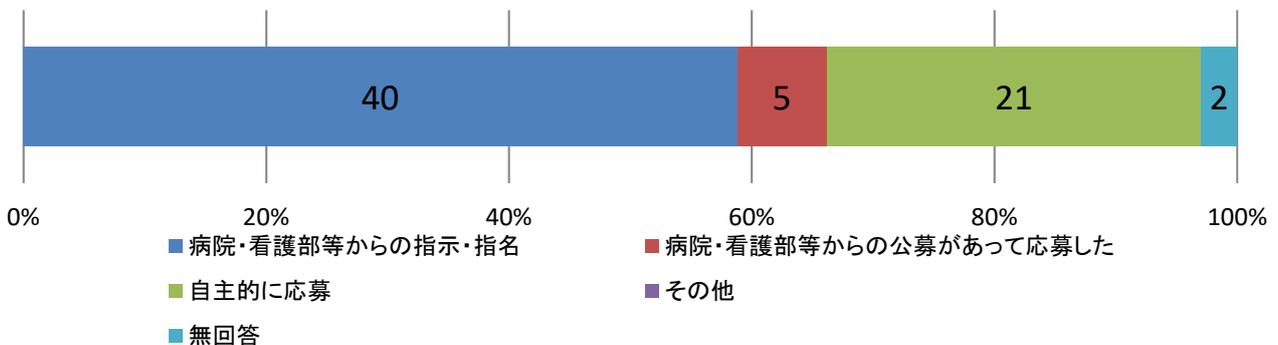
- ・ 業務多忙により関心のうすいスタッフには伝わりづらく実行が難しい
- ・ 業務の多忙さ、スタッフの性格上等により認知症の方々への関わりが今までと変わるとは思えない。
- ・ 人手不足。自分が多忙で取り組む時間がなかなかとれない。
- ・ 業務が多忙で、すべて活かすのは難しそう。
- ・ 慢性的に人手不足でせん妄ケアシステムで人的体制を調整するのは困難
- ・ 委員会、看護研究など他の業務もあり、資料作成など作るのなかなか難しい

病棟の体制や特色の問題

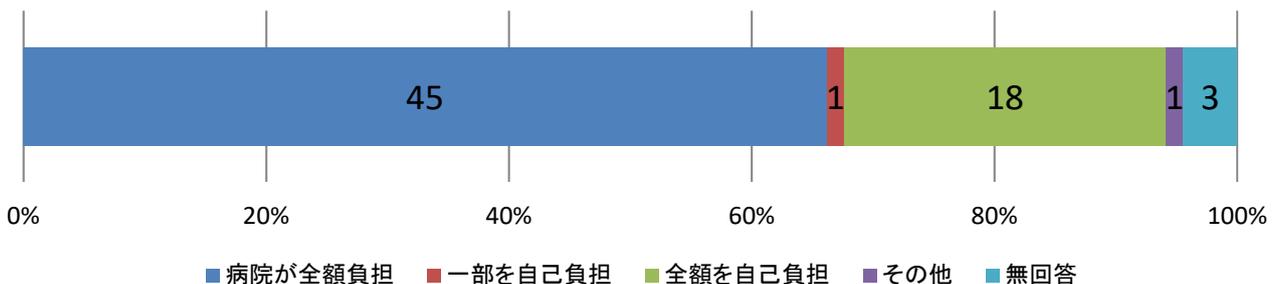
- ・ マニュアル、手順もなく 1 からの取り組みであること、介護職員を含めたスタッフへの教育も取り組まなくてはいけない。自分がただのスタッフである
- ・ 病院内に報告しても改善するまで時間がかかる、すぐに対応してくれない
- ・ 看護部以外積極的ではないため
- ・ 私の所属しているチームは SCU、CCU で無鎮静でドレーンやルートがついて、体外循環が入っている患者が多く、抑制は必須となっており意識改善が難しいため
- ・ 認知症についての勉強会の確保が必要である。研修内容が濃いので伝達会にしても何回かに分ける必要がある

IV. 研修会への応募・参加について

Q11. 研修会への参加の応募の決定



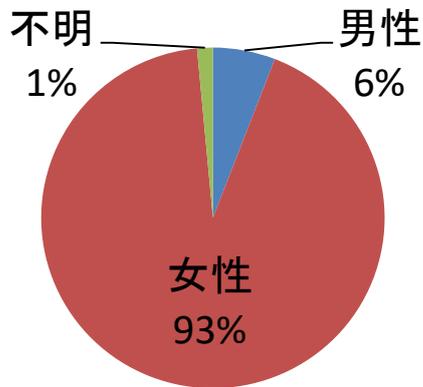
Q12. 参加費の支払い



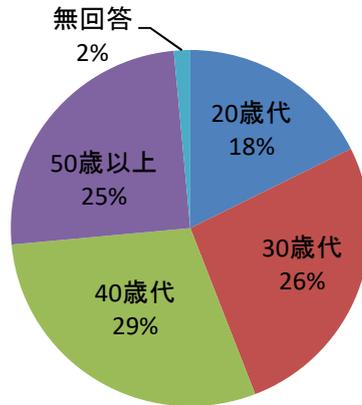
V. 参加者の概要

Q13. 基本属性について

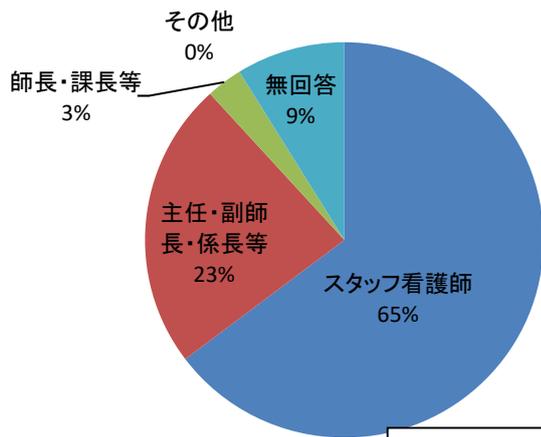
Q13-1 性別



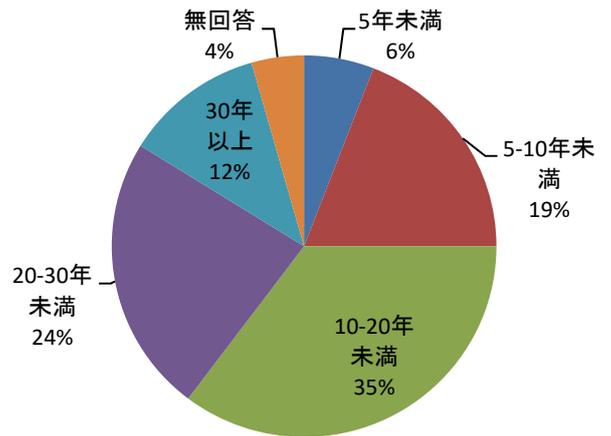
Q13-2 年齢



Q13-3 職位

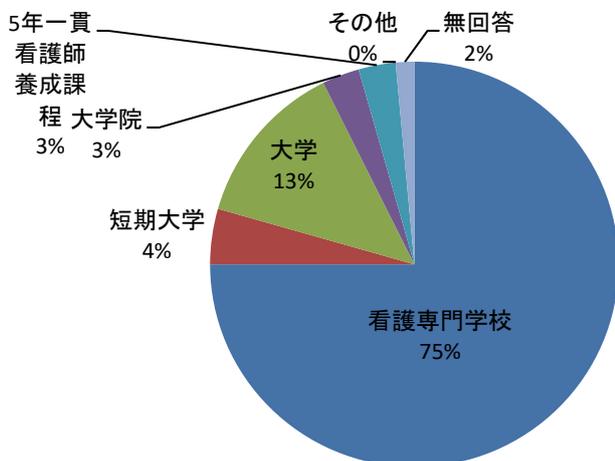


Q13-4 看護師経験年数



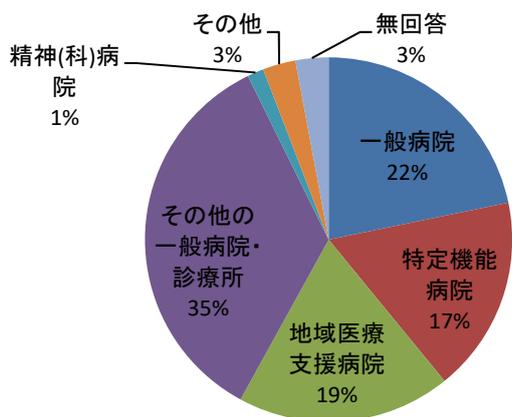
(その他
集中ケア認定看護師)

Q13-5 最終学歴



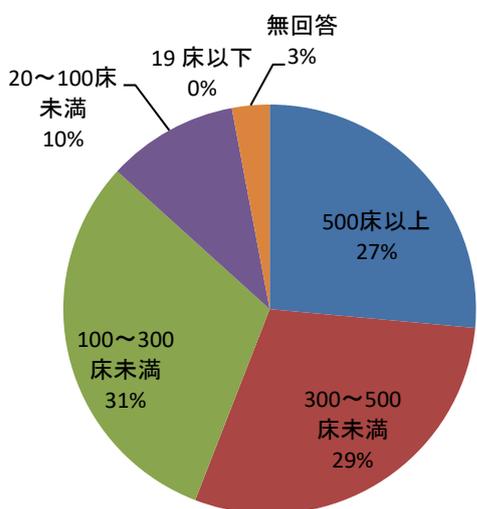
Q14. 所属について

Q14-1 勤務する病院の種類

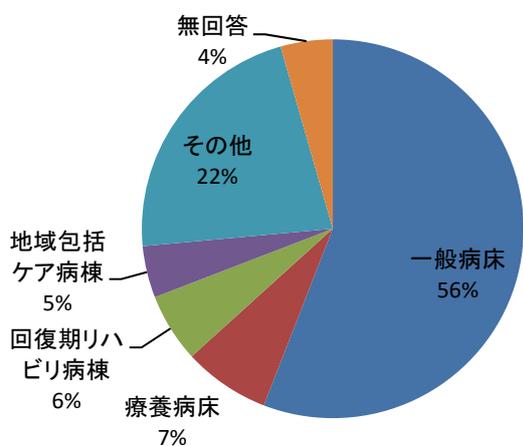


(その他)
 特別養護老人ホーム
 介護老人福祉施設

Q14-2 勤務する病院の病床規模



Q14-3 勤務する病棟の種類



(その他)
 施設
 外来
 精神科
 障害者施設等一般病棟
 急性期病棟
 ICU、HCU、SCU、CCU、救命センター

Ⅶ. 自由記載

感想

- ・ 認知症についてとても知識が深まり、最近興味が出てきていたのですがさらに興味がわきました。ありがとうございました。
- ・ 認知症の病態と治療の講義では、認知症の重要性を知ることができた。
- ・ 今回の講義を聞き、せん妄がおこさない、おきかないような関わり、ADLが低下しない関わりを考えて看護をしたいと思いました。ありがとうございました。
- ・ 日々、自身がない…対応が難しいと感じながら、認知症の Pt と関わっている中で基本的な事が分かっていない部分が講義を受けながら多いなと反省しました。……(中略)……すばらしい講義をどうもありがとうございました。学校の先生は基本的に病院で働いている看護師は何もわからず何も考えず認知症の患者様に看護を提供していると思ってもらっているということがわかりました。

要望

- ・ 身体拘束しない工夫、代替案をもっと紹介してほしい。行動化するには症例がたくさんほしい。
- ・ その事例ごとにアセスメントのポイントと望ましい結果をまとめてもらえると今後の看護にとっても役立つことが出来るのではないかと思います。たくさんの学びがあり今後に繋がりたいと思います。ありがとうございました。
- ・ 研修で使用した DVD を公開してほしい
- ・ こちらの研修はいつも内容の濃いわかりやすいもので大変参考になり、また刺激になっています。北海道で研修を行うのは2年に1回くらいを記憶しております。できれば毎年研修を行ってほしいと願います。また今回のように事例や演習と取り入れていただくと理解しやすいし、緊張感があります。

運営の改善点

- ・ (階段状の講堂なので) 話し合いづらいレイアウトだと思う。
- ・ PC 持ち込みした方が講義中に打ち込みし音がうるさかった。PC 使用席を設けた方がよい。
- ・ 暖房が入っていたため苦痛だった。
- ・ 研修会場外での昼食をとる場合、1時間は短い。移動時間も視野に入れてほしい。
- ・ 近隣の飲食店の案内が欲しかった。

以上